

株主の皆様へ

# 第129期中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

 住友ベークライト株式会社

証券コード：4203

## 株主の皆様へ



平素は格別のご支援とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第129期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況等について、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国ではF R Bの利下げを背景に住宅販売に回復の兆しが見られる等、個人消費

は堅調に推移しました。欧州では自動車メーカーの排ガス規制対応の遅れ等を背景として、製造業の業績が低迷しています。中国では米中貿易摩擦の悪化による外需の減少、昨年までの投資抑制策の影響が残り、内需の回復にも遅れが出ています。日本では雇用・所得環境の改善により、消費税増税による景気悪化は懸念されるものの緩やかに回復基調で推移し、設備投資も増加基調が見られました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体分野においては、市場成長率は第1四半期よりさらに悪化し、2019年は全世界で二桁のマイナス成長となることが予測されています。自動車分野においては、米国では、堅調な雇用情勢を背景に自動車販売は持ち直してきており前年並みとなりました。中国では景気の先行きへの不安から、前年比マイナスが続きました。国内の新車販売台数は、前年並みで推移しました。また、国内の新規住宅着工件数は、2019年4月-8月累計で前年比5.1%減となりました。

当社グループは、このような経営環境の中、C S (Customer Satisfaction、顧客満足) 向上を最優先に、「S D G s<sup>\*1</sup>」に則した「One Sumibe<sup>\*2</sup>」活動の実践により、「機能性化学分野での“ニッチ&トップシェア”の実現とともに事業規模の拡大を図る」ことを基本方針に掲げて事業運営に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、1,049億82百万円と、前年同期比で3.1%、33億57百万円の減収となりました。損益につきましては、クオリティオブライフ関連製品の販売は順調でしたが、市場環境の悪化による自動車用途向け高機能プラスチックおよび情報通信分野の販売減少額が大きいために、事業利益<sup>\*3</sup>は、前年同期比で10.9%減少し84億68百万円となり、営業利益は、前年同期比で9.0%減少し83億11百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比で4.3%増加し72億86百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき45円（前期の中間配当金<sup>\*4</sup>および期末配当金に比べ7.5円の増配）とさせていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

当社グループは、現今の半導体、自動車の市場環境悪化を念頭に、販売減少が避けられない環境下にあっても確固たる収益を確保するべく、全社を挙げてのコストダウン活動、新製品の早期実績化、新規顧客開拓活動により、収益力の強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- \*1. S D G sとは、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標である「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。
- \*2. 「One Sumibe」活動は、これまで取り組んできた「C S 最優先」での事業活動を一昨年より組織の枠を越えてさらに推進したもので、顧客に対する当社窓口をひとつと考え、全事業ラインの製品、ソリューションを念頭に、既存製品を拡販するとともに、新規開発案件を創出する全社活動です。
- \*3. 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」と「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。
- \*4. 前期の中間配当金は1株当たり7.5円でしたが、2018年10月1日付で5株を1株とする株式併合を行ったため、これを考慮して換算した場合、前期の中間配当金は1株当たり37.5円となります。

2019年11月

代表取締役社長 藤原一彦

## 決算ハイライト

売上収益

1,049億82百万円

前年同期比 3.1%減 ↓

事業利益

84億68百万円

前年同期比 10.9%減 ↓

親会社の所有者に帰属する四半期利益

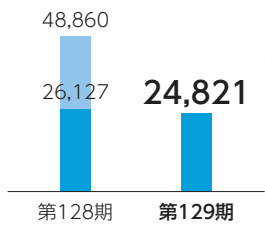
72億86百万円

前年同期比 4.3%増 ↑

半導体関連材料部門



売上収益 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期 (累計) ■ 通期



**売上収益**

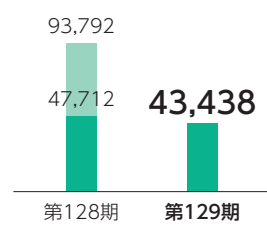
**248億21百万円**

前年同期比 **5.0%減** ↓

高性能プラスチック部門



売上収益 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期 (累計) ■ 通期

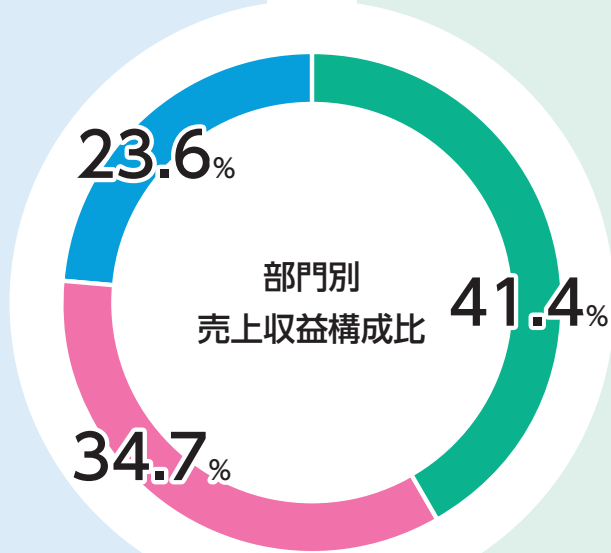


**売上収益**

**434億38百万円**

前年同期比 **9.0%減** ↓

昨年後半より半導体市場の世界的な低迷が続いており、中国市場での5G通信用途向けに明るい兆しは見えつつありますが、半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、半導体用ダイボンディングペーストは、売上収益は減少しました。一方、感光性ウェハコート用液状樹脂は、顧客の在庫確保の動き等もあり、売上収益は堅調に推移しました。



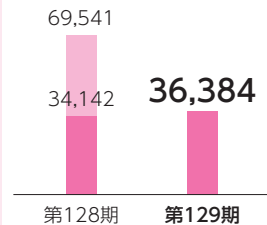
中国を中心とする自動車市場の低迷、米中貿易摩擦の悪化による米国向け電機製品の輸出減の影響、米国子会社のシェールオイル向けおよび自動車制動部品向けの販売不振により、フェノール樹脂成形材料および車載向け銅張積層板は、売上収益は減少しました。工業用フェノール樹脂は、非自動車分野への注力により前年並みの水準でした。

航空機内装部品は、主要顧客である米国航空機メーカーの販売不振の影響を受け、売上収益は大幅に減少しました。自動車用成形品は、大口顧客の獲得により、今期から大きく売上収益を伸ばしています。

クオリティオブライフ関連製品部門



売上収益 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期 (累計) ■ 通期



**売上収益**

**363億84百万円**

前年同期比 **6.6%増** ↑

医療機器製品は、国内事業は血管内治療や内視鏡治療の分野で高付加価値用途の強化を進めていますが、企業向けおよび輸販売に力強さがなく、前年実績を下回りました。一方、米国子会社の販売は順調に伸び、事業全体では前年を上回る売上収益となりました。

バイオ関連製品は、既存のバイオ製品の好調に加え、今期から営業を開始した体外診断用医薬品事業の新会社「S B バイオサイエンス株式会社」が寄与し、売上収益は順調に増加しました。

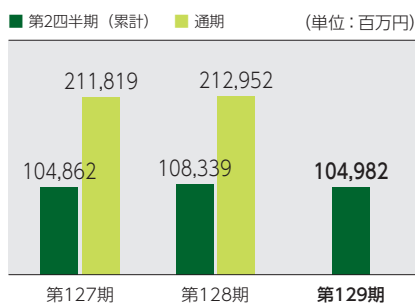
ビニル樹脂シートおよび複合シートは、産業用途は半導体市場悪化の影響を受け、需要に力強さがなく減収となりましたが、医薬品包装用途はジェネリック医薬メーカー向けを中心に繁忙な状況が続いており、食品包装用途も調味料向けの厚物材の好調に加え、業界内での営業シェアアップに努めた結果、売上収益は大幅に増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、建築材向け・工業設備用向けは堅調に推移しました。また、サングラス等に使用する偏光板は、欧州市場をメインに拡販を進め、売上収益を大きく伸ばしました。

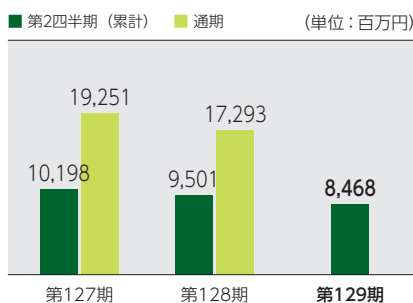
防水関連製品は、国内の新設住宅着工数は前年割れの状況にありますが、当社製品は新築住宅、マンション向けを中心に好調に推移し、売上収益は増加しました。

## 連結業績ハイライト

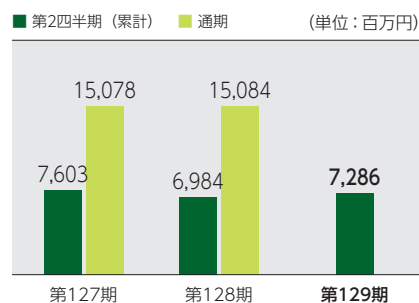
### ● 売上収益



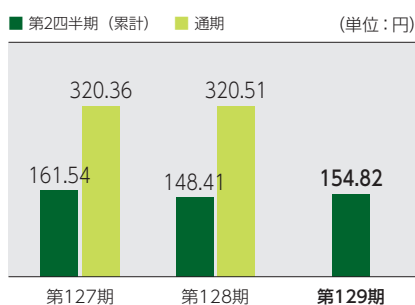
### ● 事業利益



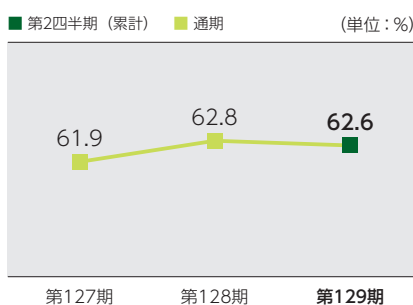
### ● 親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



### ● 基本的1株当たり四半期(当期)利益



### ● 親会社所有者帰属持分比率



(注) 2018年10月1日付で、5株を1株とする株式併合を行ったため、第127期および第128期の基本的1株当たり四半期(当期)利益は、第127期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

## 財務状況

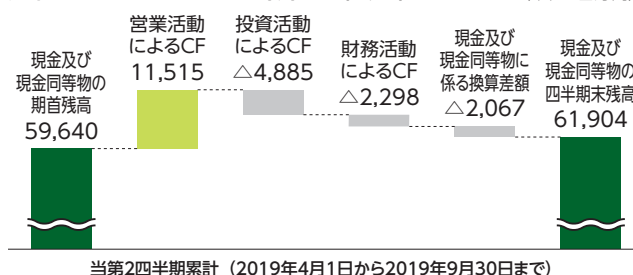
### 連結財政状態計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
<b>資産</b>		
流動資産	146,771	147,140
非流動資産	138,126	138,462
<b>資産合計</b>	<b>284,898</b>	<b>285,602</b>
<b>負債</b>		
流動負債	67,256	66,625
非流動負債	37,006	38,331
<b>負債合計</b>	<b>104,263</b>	<b>104,956</b>
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分	178,818	178,667
非支配持分	1,816	1,978
<b>資本合計</b>	<b>180,635</b>	<b>180,645</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>284,898</b>	<b>285,602</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)



### 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期累計 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期累計 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上収益	108,339	104,982
売上原価	△ 75,780	△ 73,235
売上総利益	32,559	31,746
販売費及び一般管理費	△ 23,058	△ 23,278
事業利益	9,501	8,468
その他の収益	201	127
その他の費用	△ 568	△ 285
営業利益	9,134	8,311
金融収益	617	772
金融費用	△ 99	△ 163
持分法による投資損益	△ 7	123
税引前四半期利益	9,645	9,043
法人所得税費用	△ 2,547	△ 1,761
四半期利益	7,098	7,281
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,984	7,286
非支配持分	113	△ 5
四半期利益	7,098	7,281

## 会社概要 (2019年9月30日現在)

設立	1932年1月25日
資本金	37,143,093,785円
従業員数	6,046名 (連結)

## 株式情報 (2019年9月30日現在)

株式の種類	普通株式
単元株式数	100株
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	49,590,478株
株主数	10,631名 (うち単元株主数7,374名)

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	10,509	22.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,893	10.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,166	8.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,049	4.36
野村信託銀行株式会社 (投信口)	970	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・ 三井住友信託退給口	873	1.86
株式会社三井住友銀行	872	1.85
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	851	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	638	1.36
JP MORGAN CHASE BANK 385151	525	1.12

(注) 1. 当社は自己株式2,530千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

## 役員 (2019年9月30日現在)

### 取締役および監査役

代表取締役会長	林 茂彦
代表取締役社長	藤原 一彦
取締役	稲垣 幸俊
取締役	朝隈 隆郎
取締役	中村 剛一
取締役	桑木 孝之
取締役	小森 博之
社外取締役	阿部 和雄
社外取締役	松田 久夫
社外取締役	出口 敏夫
常勤監査役	寺沢 常勝
常勤監査役	青山 重彦
社外監査役	山岸 和彦
社外監査役	永島 津子

### 執行役員

社長執行役員	藤原 一彦
専務執行役員	稲垣 幸俊
専務執行役員	朝隈 隆郎
常務執行役員	中村 剛一
常務執行役員	桑木 孝之
常務執行役員	小倉 圭介
常務執行役員	鈴木 淳司
執行役員	長木 浩司
執行役員	文田 雅哉
執行役員	竹崎 義一
執行役員	鈴木 清治
執行役員	指田 暢幸
執行役員	鈴木 真久
執行役員	アレックス・ガスケンス
執行役員	藤村 宜久
執行役員	鍛冶屋 伸一

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により行います。 <a href="http://www.sumibe.co.jp">http://www.sumibe.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
ホームページ	<a href="https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html">https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html</a>

## お知らせ

### 1. 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会につきましては、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 2. 除斥期間満了後のお取り扱いについて

配当金は、支払開始の日から満3年（除斥期間）を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

### 3. 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についての住所変更等のお届出およびご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

 住友ベークライト株式会社

東京都品川区東品川二丁目5番8号

ホームページ <http://www.sumibe.co.jp>



レスポンシブル・ケア®

